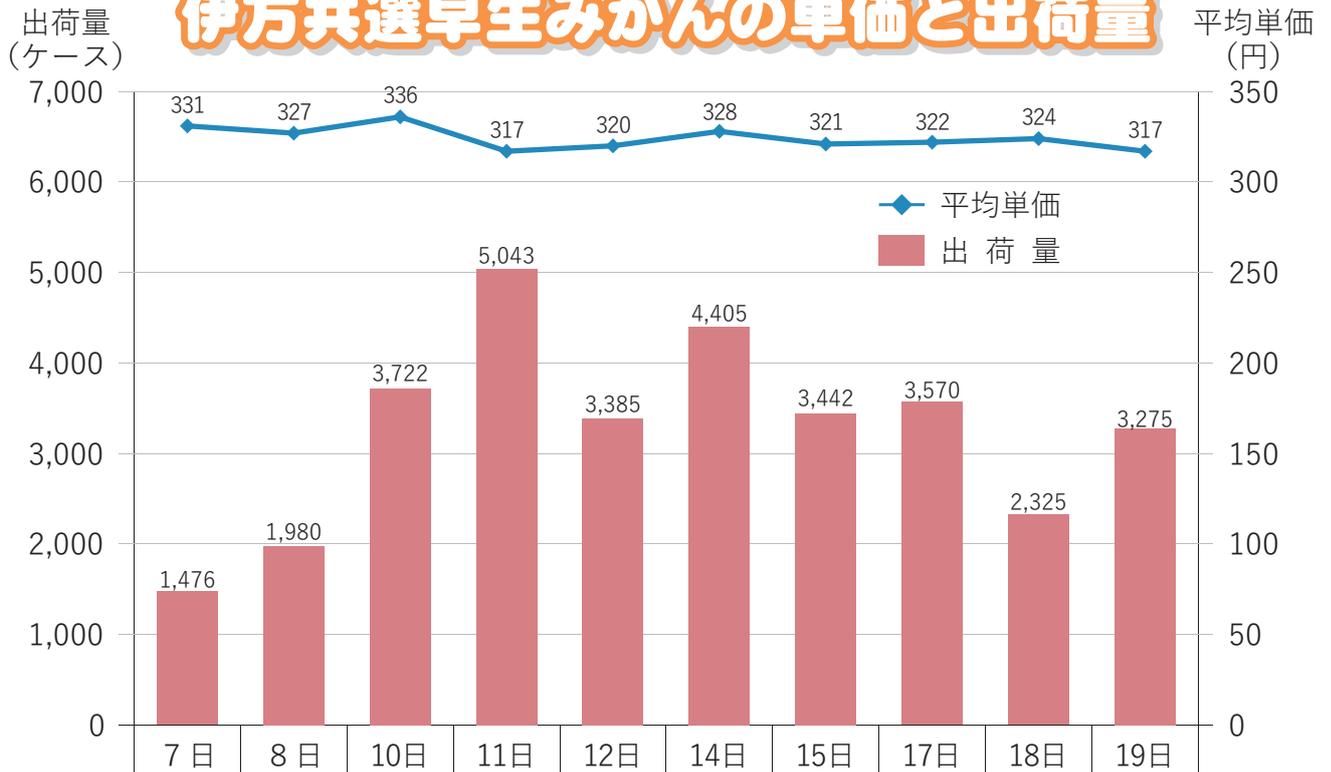


伊方町農業支援センターだより

Farmers' Communication Magazine For IKATA Member's

令和4年度産

伊方共選早生みかんの単価と出荷量



◆ 平均単価	331	327	336	317	320	328	321	322	324	317
■ 出荷量	1,476	1,980	3,722	5,043	3,385	4,405	3,442	3,570	2,325	3,275

CONTENTS

1. 表紙 早生みかんの取引価格好調推移
2. 令和4年度全国優良経営体表彰（農林水産大臣賞）受賞について
3. 農福連携について
4. 『伊方町農林漁業振興事業』中間報告について
5. 『伊方町有害鳥獣被害防止対策事業』中間報告について
6. 放任園の伐採で園地を整備！！（三崎地区青年農業者協議会）
7. ニューフェイス紹介
8. 農業者年金に加入しましょう！

伊方町イメージキャラクター

サウンディー



No.37

企画発行／伊方町地域担い手育成総合支援協議会（伊方町農業支援センター内）

〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦1993-1

伊方町役場本庁2階 伊方町農業支援センター内

TEL (0894) 38-2658 FAX (0894) 38-1373

◆瀬戸・三崎地域の受付窓口◆

瀬戸支所地域住民室 TEL (0894) 52-0111

三崎支所地域住民室 TEL (0894) 54-1111



農林水産省及び全国担い手育成総合支援協議会は、令和4年10月7日に令和4年度全国優良経営体表彰の各賞（経営改善部門、生産技術革新部門、6次産業化部門、販売革新部門、働き方改革部門、担い手づくり部門）の受賞者を決定しました。

愛媛県内からは、働き方改革部門で「株式会社ニュース」が受賞されました。

働き方改革部門

1. 農林水産大臣賞

愛媛県伊方町 株式会社 ニュウズ

2. 経営局長賞

長崎県島原市 有限会社 松本ファーム

3. 全国担い手育成総合支援協議会会長賞

新潟県新発田市 有限会社 アシスト二十一

福井県あわら市 農事組合法人 イーノなかのはま 100

受賞者コメント

今回このような賞をいただくことができたのは、日頃から弊社を支えていただいております協力企業の皆様や地域の皆様、行政関係者の皆様のお力添えの賜物だと思っております。改めて厚く御礼申し上げます。

これを通過点とし、今後さらに新しい挑戦を続け、農業界の先駆者となるべく企業になります。

これからも愛媛みかんそして農業の可能性を広げてまいりますので、引き続き心寄せていただければ幸いです。この度は誠にありがとうございました。

農業生産法人 株式会社ニュース
代表取締役 土居裕子

詳しくは、[こちらをご覧ください。](#)

【農林水産省ホームページ】 <https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/keiei/221007.html>

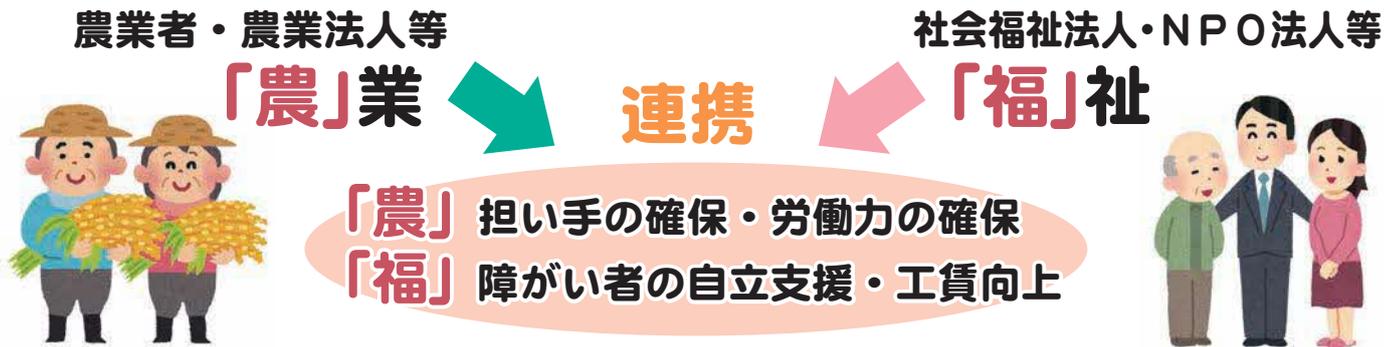
農福連携に取り組んでみませんか？

八幡浜支局地域農業育成室

● 農福連携とは？

「農」とは農業者や農業法人などの農作業を行うこと、「福」は社会福祉法人やNPO法人など福祉的なサポートを行うこと。

これら二つが連携し農作業等を行い、農業分野では、担い手の確保や労働力の確保、福祉分野では、障がい者等の自立支援や工賃向上を目的に行われている取組です。



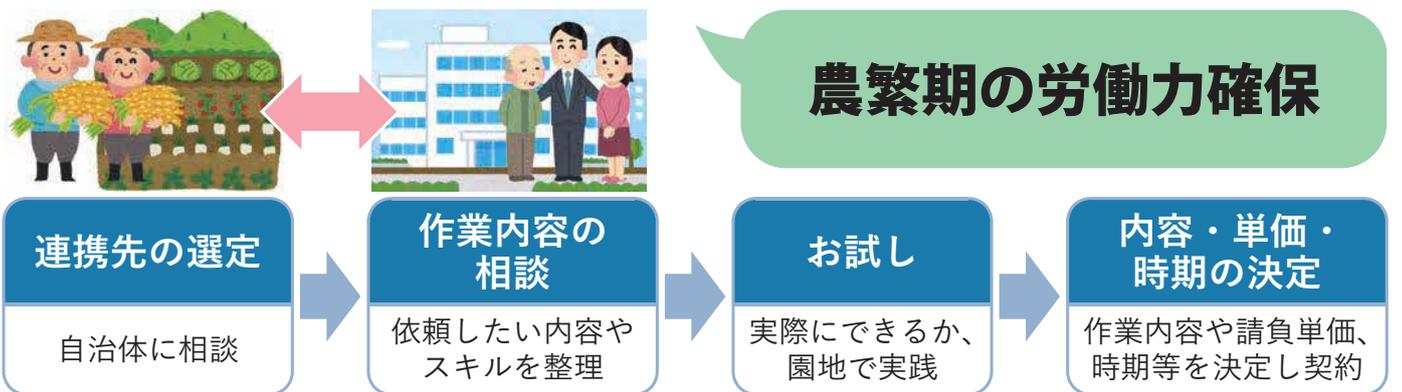
● どうやってするの？

農繁期の労働力確保の一つの方法として取り組まれています。

興味・関心がある方は当室にご連絡ください。依頼したい内容や必要な能力などを福祉施設と相談します。その後、実際に作業を試してみます。このお試し作業をマッチングと呼んでおり、園地で作業ができるか実践を行います。

最後に、すべてを含めた、作業内容や請負単価、時期等を決定し契約します。この時、分かりやすい基準や手本となる写真、動画を用意するとイメージしやすくなります。

★ 農業経営体の農作業を施設利用者が行う（施設外就労）



● 実施にあたり留意する点は？

農福連携の実施に際しては、就労支援施設と農家の相互の理解・合意は不可欠です。園地でのトイレの有無や作業環境、賃金の取り決め、送迎等を含む労働時間の制約、作業能力の個人差などを、同行する支援員と事前に十分話し合い、納得のいく形で契約することが求められます。

労働力確保の一手法として農福連携も考えてみてはどうでしょうか？

「伊方町農林漁業振興事業」 の申請状況について



令和2年度より開始しました、伊方町単独の補助事業「伊方町農林漁業振興事業」の今年度の申請状況について報告します。

今年度はまだ予算に余裕がありますので、補助要件等を確認のうえ積極的な活用をよろしくお願ひします。

申請状況

◆ 件数 35件 ◆ 総事業費 8,765,228円(税込) ◆ 補助金額 2,636,000円

※ 今年度の予算上限は5百万円です。

補助概要

農林漁業者(法人を含む)の機械・設備投資に対し、事業費の5万円を超える部分に対し補助を行います。

※ 町税等の滞納者は補助対象外となります。

補助金額

総事業費(消費税を除く)から5万円を引いた額に対し、下記の補助率を掛けた金額(千円未満切り捨て)。

◆ 認定農業者 1/2以内 ◆ その他農業者 1/3以内

※ただし、1件当たり補助金額50万円を上限とし、単年度で1経営体あたり1申請とする。

補助対象機械・設備等

- ◆ 農業の生産活動に要する機械、設備とする。
- ◆ 下記の機械等は審査会ですでに承認されています。
(選果機・ウッドチップパー・電動剪定ばさみ・動噴セット・レール更新(資材費のみ))
- ◆ 防草シート・防風ネット・ハウスのビニール・ハウス用巻き上げ機・アシストスーツ等)

本事業で整備された機械



モノレール更新



電動一輪車(運搬車)

『有害鳥獣被害防止対策事業(町単独事業)』 の申請状況について

今年度より開始しました、伊方町単独の補助事業「害鳥獣被害防止対策事業」の今年度の申請状況について報告します。

今年度はまだ予算に余裕がありますので、補助要件等を確認のうえ積極的な活用をよろしくお願ひします。



申請状況

- ◆ 件数 21件
- ◆ 総事業費 1,918,895円(税込)
- ◆ 補助金額 818,000円

【目的】

近年、鳥獣被害(イノシシ)が山間部だけでなく集落付近にまで及んでいることから農業者だけの問題ではなくなっています。そこで、被害防止設備の支援を実施することにより、全町民が鳥獣被害対策に関心を持ち自主的に対策することで被害を抑制することを目的とする。

【メリット】

購入後、すぐに手続きが可能となるため必要な時に早急に整備が可能となる。



中山間部の園地(電気柵)



園地の周辺(鉄筋柵)

1. 補助対象者

- (1) 町内に住所を有する者
- (2) 町税等の完納者

2. 補助率及び条件

- (1) 事業費(税抜)の1/2以内
- (2) 1件当たり補助金額10万円を上限とし、年度内1申請とする。
- (3) 1,000円未満の端数は切り捨てとする。
- (4) 申請は、購入後に領収書及び写真を添付して提出。

3. 受付期間

◆ 随時受付

※ ただし、令和4年4月1日～令和5年3月31日までに事業(支払い)を完了したものの、予算に限りがありますので、申請を受け付けられない場合があります。

4. 対象設備

◆ 鉄筋柵・電気柵・防鳥ネット
(重複申請可能)

※ 資材費のみが対象で設置費は対象外

5. その他

◆ 急を要しない農業者については県単事業(1戸から可能)の活用をお願いします。

三崎地区青年農業者連絡協議会

放任園の伐採で園地を整備

三崎地区では、現在、高齢化により栽培を継続することが困難となった園地が増加しつつあります。こうした園地では、病虫害の発生源や、イノシシの住処となる恐れがあります。

そのため、三崎地区では例年、協議会員がこうした園地の依頼を受け、伐採を実施しています。伐採後の園地は、参入者や新規会員のために改植しやすいよう整備しています。



急斜面で
安全に留意し
ながら作業

今年度の活動 【6/28、10/24】	・名取地区	52 a
	・二名津地区	55 a
	・平磯地区	10 a
	計	117 a

今年度は名取地区で約 50a、二名津地区で約 55a、平磯地区で約 10a の園地で伐採を行いました。

会員からは、伐採が終わった園地を見て「やりがいがあった」との声が聞かれました。

数十年前から同協議会が続けてきた活動を今後も絶やさず、これからの産地の維持のために頑張ります。



伐採後の
すっきりとした
園地

チェーンソーを使用して伐採を計画している方は、YouTube でシトラス講座(第2回)「チェーンソーの使い方・メンテナンス」を是非ご覧ください。農作業事故防止に努めましょう。

NEW FACE

就農して5年以内の新規就農者をご紹介します！



佐々木雄多郎

① 就農したきっかけは？

小さいころから父と母の手伝いをしていて自然の中で働くことに憧れ、やりがいを感じていたから。

② 農家に対するイメージは？

収入面や将来が見えない不安はあるが、続けていく楽しさがある。

③ 今後の目標は？

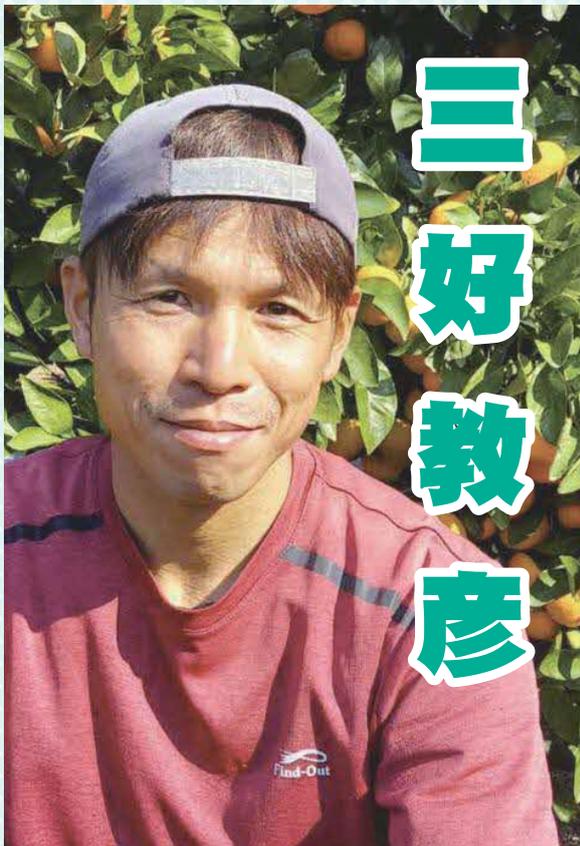
一人で仕事を進められるようになりたい。

④伊方町に望むことは？

農家に対する支援を増やして欲しい。

⑤活用助成金

新規就業者支援対策事業



三好教彦

① 就農したきっかけは？

自身の力で農業経営に挑戦したいと思ったことと、地域の農業を少しでも盛り上げたいと思った。

② 農家に対するイメージは？

やればやった分だけの結果が出る。試行錯誤。

③ 今後の目標は？

規模拡大と早く一人前の農家になる。

④伊方町に望むことは？

若い人たちが残る町づくりをお願いします。

⑤活用助成金

新規就農者支援対策事業



若い今こそ年金アクション!

若い農業者の皆さん! 自分の老後 自分で守れますか?

若い農業者の方は、**国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」**に加入して
安心して豊かな老後を!

ポイント

1

保険料は自由に選べる! (2万円~6万7千円、千円単位)

さらに、35歳未満であれば、

1万円からでも加入可能!

ポイント

2

認定農業者で青色申告者等には、

国庫補助で手厚い支援!

1万円の自己負担で2万円の積立てが実現!

ポイント

3

自ら支払った保険料は、

全額社会保険料控除の対象!

その他にも、税制面で優遇措置がある!

農業者年金の内容やご相談については、
最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金に
お問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

● 専門相談員

TEL: 03-3502-3199

● 企画調整室

TEL: 03-3502-3942